

## 総括研究報告書

1. 研究開発課題名： ウイルス出血熱等の原因不明の感染症の病原体同定とウイルス感染症の現地診断システムの構築
2. 研究開発代表者： 安田 二郎（長崎大学熱帯医学研究所）
3. 相手国研究代表者： Bertrand Lell（ランバレネ医療研究センター（CERMEL）（ガボン共和国））
4. 研究開発の成果

本年度は暫定期間のため、2015年8月、9-10月、2016年2月に現地を訪問し、現地共同研究機関と研究課題の進め方及び導入設備についての協議を行った。また、ガボン政府の関係機関・省庁への協力要請も行った。2月10日には長崎大学とランバレネ医療研究センター（CERMEL）間で本研究課題のMOUを締結した。

更に、研究開発項目「迅速診断システムの構築」の細目課題「対象病原体の選定」の一環として、ガボン共和国保健省疫学研究所（IELCE）への聞き取り調査を実施し、これまでにガボン国内で発生が確認されているウイルス感染症および発生の可能性のあるウイルス感染症をリストアップし、対象病原体として、デングウイルス、チクングニヤウイルス、黄熱ウイルス、ジカウイルス、インフルエンザウイルス、ラッサウイルス、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、エボラウイルスを当面の候補とした。